

開示データ

環境目標／実績				
	取り組み課題	2018年度目標	2018年度実績	評価
地球温暖化防止	スコープ1,2のGHG排出量の削減	2010年度比33%減※2	31.7%減※2	×
	エネルギー使用量の削減※1	2010年度比32%減※2	32.6%減※2	○
環境負荷の把握	スコープ3カテゴリGHG排出量の把握		計画通り進捗	○
資源循環	総廃棄量の削減	2010年度比14%減※2	4.3%減※2	×
	不要物のリサイクル率の向上	リサイクル率70%	75.0%	○
	グリーン調達への推進	グリーン購入の推進	63.9%	○
生物多様性と化学物質による汚染の回避	サプライチェーンの原材料、化学物質の管理体制の構築	1.ホルムアルデヒド放出量の計測、監視 2.仕入先の原材料、化学物質の使用状況の調査と管理体制構築	1.計画通り進捗 2.計画通り進捗 仕入先向けアンケート調査実施	○
商品を通じた地球環境保全	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮商品の開発（省エネ、省資源、ロングライフ、室内環境等） 商品環境情報の数値化と開示 	1.環境配慮商品の開発（省エネ、省資源、ロングライフ、室内環境等） 2.環境配慮商品ラインアップ紹介	1.環境配慮商品の拡充（光拡散、軽量化、再生材使用等） 2.環境配慮商品の社内データ整備	○

※1.エネルギー使用量は事務所、倉庫（省エネ法対象）の範囲としています。

※2.売上高原単位での目標数値。

関連データ

	2016年度	2017年度	2018年度	備考
廃液の流出量	0	0	0	該当はありません
有害廃棄物（医療用、指定有害）の排出量	0	0	0	該当はありません
環境に関する罰金および処罰のコスト	0	0	0	該当はありません
リサイクルされた廃棄物の3年間の排出量 (t)	1,995	2,140	2,464	
非リサイクル廃棄物の3年間の排出量 (t)	1,445	1,327	1,011	
3年間の総エネルギー消費量 (GJ)	128,666	132,292	127,535	

環境会計

※環境省の「環境会計ガイドライン（2005年度版）」を参考に作成しています。

※対象期間は2018年4月～2019年3月とし、集計対象は株式会社サンゲツ単体のみで、グループ会社は含まれません。

環境保全コスト

単位：百万円

分類		主な取組み内容	投資額	費用額
事業エリア内コスト			221.7	386.5
内訳	公害防止コスト	大気・水質・土壌汚染防止等	-	1.0
	地球環境保全コスト	温暖化防止、省エネ、環境対応車両の導入等	221.7	222.7
	資源循環コスト	資源の効率的利用、廃棄物関連等	-	162.8
上・下流コスト		グリーン購入、商品リサイクル、シックハウス対応等	-	7.7
管理活動コスト		環境マネジメントシステムのPDCA活動、緑化等	1.4	9.3
研究開発コスト		環境対応商品の開発等	-	11.9
社会活動コスト		自然環境保全活動、団体への寄付、支援等	-	2.0
環境損傷対応コスト		環境汚染の修復・保全	-	0.0
合計			221.3	417.4

環境保全効果

分類	環境パフォーマンス指標 (単位)	2017年度	2018年度	増減
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量 (Gj)	132,292	127,535	▲4,757
	水資源投入量 (m ³)	33,289	26,974	▲6,315
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	8,306	8,118	▲188
	廃棄物総排出量 (t)	3,688	3,695	7※
	総排水量 (m ³)	33,289	26,974	▲6,315
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	商品軽量化によるCO ₂ 削減 (t) ※フロアタイル：CFP取得点を算出	22,863	21,720	▲1,143
その他の環境保全効果	太陽光設置による電力創出 (kWh)	520,798	532,137	11,339

※ 2018年度は北海道支社及び北海道物流センター移設に伴う「新旧施設の重複利用」等により廃棄物総排出量増加に至っています。

環境保全対策に伴う経済効果

単位：百万円

分類	主な取組み内容	2018年度
費用削減	梱包資材（床材出荷時の紙管等）リユース	19.0
	エコドライブ化による燃料費削減	5.5
収益	太陽光設置に伴う収益	20.7
	廃棄物の有価物化による売却益	2.0